

# 会報巻号

電話 (075) 691-7561  
 発行者 石田 昇一 (獅子の如く代表)  
 編集者 会報編集部  
 (美優・里紗・亜衣・祐哉)  
 印刷 ㈱サイズ (075) 671-8107



協力/吉祥院六斎念仏踊り保存会、吉祥院子ども六斎運営委員会、菅原町町内会、NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク、解放同盟吉祥院支部

国の重要無形民俗文化財指定  
 吉祥院六斎念仏踊り



獅子と土蜘蛛

**吉祥院**天満宮で奉納される吉祥院六斎念仏踊りは、鉦や太鼓が奏でる囃子は、訥々(とつとつ)として涼しげで、見上げる観衆のざわめきの中に溶け込んだかと思うと、ふつと浮き立ってきます。飄々(ひょうひょう)として、味わい深い地域伝統芸能です。吉祥院六斎念仏踊りは、国

## 踊りと音色の風物詩 吉祥院六斎を楽しま

京都の夏は、七月の祇園祭りに始まり、八月の六斎念仏踊りで幕を閉じるといわれています。吉祥院天満宮(南区)では、四月二十五日に春季大祭が、八月二十五日に夏季大祭が行われ、両日共に夜八時頃から、境内の舞殿において「吉祥院六斎念仏踊り」が奉納されます。

の重要無形民俗文化財に指定され、差別を撥ね退け、今に伝えてきた貴重な文化遺産の後継者及び育成として、地域住民の方が「吉祥院子ども六斎会」を発足し、次世代に伝承するため育成活動に取り組みられています。

### 子ども六斎会 吉祥院

に通う子どもたちにとっては、日頃の稽古の成果を発表する場にもなっていて、入れ替わり立ち替わり、四ツ太鼓の前へ進み出て、ばちを振るう彼女らの眼差しは、真剣そのもので気迫を感じます。六斎念仏は、空也上人が信仰を広めるため鉦や太鼓を叩き踊りながら念仏を唱えたのが起こりとされ、その後、六斎日(仏典で示された悪鬼か



吉祥院天満宮の舞殿に出演する子ども六斎会



吉祥院天満宮

ら身を守るための精進潔斎日)に行われるようになったため「六斎念仏」と呼ばれるようになりました。

これがさらに、室町時代中頃から娯楽的な要素を採り入

れ、徐々に今日見られるような芸能色豊かな形へと変容してきました。現在、京都市内の数ヶ所に伝承され、一括して国の重要無形民俗文化財に指定されていますが、吉祥院六斎念仏踊りはこのうちのひとつです。六斎念仏踊りが行われる吉祥院天満宮は、九三四年(承平四年)菅原道真生誕の地に建てられ、道真を祭神とする天満宮としては、全国に数あ

る中、最初に創建されたものだといえます。

**当**時、吉祥院六斎念仏踊りは、吉祥院地域だけでも、東条・西条・北条・新田・石原・嶋という町内の人々がそれぞれ六斎組の妍(優美さ)を競っていました。

一方、日本の近・現代は、全国各地で民間に伝承されてきた芸能や祭事が衰微・消滅を余儀なくされる歳月で、吉祥院も例に洩れず、地域コミュニティの弱体化に伴い、六斎組が一つ、また一つと活動を停止していきます。周囲から排除されながらも心一つにして、一途に六斎に取り組んできた人々だからこそ、団結の力でコミュニティの弱体化を迫る時代の波に抗い、差別を撥ね退け、その思いで乗り切ることが出来たのでしょうか。

**戦**後、幾年かが経ち、気が付けば、吉祥院六斎念仏踊りを受け継ぐのは、菅原組だけになっていました。かつて排除された人々が、「吉祥院六斎保存会」を結成し、今では、地元NPO法人ふれあい吉祥院ネットワークや、地域住民組織などが貴重な地域伝統芸能である「吉祥院六斎念仏踊り」を伝承・保存する活動が広まっています。

(記事提供/渡辺毅)

私たちは、重要無形民俗文化財吉祥院六斎念仏踊りの「伝承・発展」を応援します。(応援する企業等を募集しています)

京都市府知事許可第34654号  
 管工事業・ボイラー・配管・溶接・施工据付工事一式  
 代表取締役 井上 孝司

## 井上工業

〒601-8395  
 京都市南区吉祥院中原西屋敷町21-1  
 電話・FAX (075)311-7430

地域と共に安心 安全をモットーに!  
 子どもの安全 第一に頑張っています。  
 社団法人全国警備業会々員

## ㈱ ダイヤ・セキュリティ・ジャパン

〒601-8395  
 京都市南区吉祥院中原里北町38  
 富家マンション208  
 電話 (075)325-0168

株式会社 **サイズ**

〒601-8336  
 京都市南区吉祥院菅原町39-1  
 電話 (075)671-8107  
 FAX (075)671-1618  
 E-Mail size@zeus.eonet.ne.jp



# 獅子の如く

差別に挑む 歴史を生き  
 自らの手で 熱き想いで  
 さらに地に返り  
 新たに創り上げた文化

わたしたちは  
 その想いを引き継ぐ

舞台上に上がれない  
 悔しい思いの中  
 身体が震え 涙が流れた  
 差別に怯まず  
 闘いの中で生まれた

わたしたちは誓う  
 この火を消すまいと

不安を吹き飛ばし  
 希望を育み  
 新たな歴史づくりへ

六斎は伝える  
 差別の厳しさつらさを

獅子の如く 闘いに挑み  
 差別と闘うために  
 もう涙は流さない  
 この姿を見てほしい

吉祥院子ども六斎会

## 吉祥院六斎歴史研究会 獅子の如く 発足準備会を開催

獅子の如く代表：石田房一／副代表：木村俊典、西村一孔／主務：吉田渉／研究員：木村信彦、村田大輔、永田文哉、永田祐哉、永田祐哉、清水美優、西片里紗、木村亜衣／広報：松田誠二／顧問：関正雄

二〇一〇年四月一日、「吉祥院六斎念仏踊り」(国の重要無形民俗文化財指定)の歴史調査及び継承発展を図る目的に「吉祥院六斎歴史研究会」(通称名「獅子の如く」)の設立総会を吉祥院福祉センターで開催しました。

当研究会は、小学生時代「子ども六斎会」で活動する高校生や六斎保存会の若手メンバーを中心に、六斎の歴史や現在に至る経緯をまとめた会報「獅子の如く」を発行し、吉祥院天満宮の六斎奉納に合わせて、来場者に配る他、地域の方から聞き取り調査で、資料や道具、写真の収集を行い、また、若い担い手を歴史

の語り部に養成する活動を行います。

現在、吉祥院六斎保存会は会員の高齢化や継承問題等で存続の危機にひんする中、六斎の歴史的意義を地元伝える

### 研究会「獅子の如く」吉祥院六斎若手が担う

など、六斎の活性化を目指します。

発足会では、活動に賛同する仲間や各種団体・企業の支援者が集い、「吉祥院六斎念仏踊り」の伝承保存・歴史調査・活動方針などを確認しまし

みや継承の重要性について、お話をさせて頂きました。

吉祥院地域は、「六斎」があるから「地域」があり、「地域」に活気があるからこそ「六斎」が盛り上りものだと考えています。

た。また、これまでも吉祥院六斎の活動の支援を頂いている元吉祥院小学校教頭杉田明生氏や、東九条マダン事務局長の渡辺毅氏も急遽駆けつけて頂き、六斎の活性化の取り組み

### 六斎見聞録

京都の六斎念仏



獅子と土蜘蛛 (吉祥院天満宮)

江戸時代、京都市内周辺農村各地で多数の六斎組(江戸時代、六斎念仏を行う団体を組と称していました。)が組織されておりました。

しかし、その後、時代の推移とともに、生活環境や価値観、趣味娯楽も変わるにつれ、各六斎組が次々と消滅し、現在では、京都市内に十数団体を残すのみとなりました。

江戸時代、六斎念仏は「干菜寺系」と「空也堂系」に分かれており、吉祥院六斎念仏踊り

は、空也堂系の代表的な六斎念仏の一つでありました。

### 京都の各地域で伝承保存される六斎保存会

京都市内で、円覚寺六斎、西方寺六斎、千本六斎、小郷六斎、嵯峨野六斎、梅津六斎、郡六斎、西院六斎、壬生六斎、中堂寺六斎、六波羅密寺六斎、桂六斎、吉祥院六斎、久世六斎、上鳥羽六斎が伝承保存され、各組が伝承保存されております。

(編集部)

### 六斎歴史研究会 獅子の如く会

- 代表 石田房一
- 副代表 木村俊典
- 副代表 西村一孔
- 主務 吉田 渉
- 研究員 木村信彦
- 研究員 村田大輔
- 研究員 永田文哉
- 研究員 永田祐哉
- 研究員 清水美優
- 研究員 西片里紗
- 研究員 木村亜衣
- 顧問 松田誠二
- 顧問 関正雄



時代の流れの中で、様々な困難に出会いながらも、今まで六斎を維持しようとする変な努力を続けられ、六斎が好きだという熱い思いと誇りが、これまで六斎を支えてきました。より多くの人たちに吉祥院六斎念仏踊りに触れて頂けるよう、「六斎」が人と人をつなぐ大きな力を発揮してくれるのではないかと期待を寄せています。

吉祥院六斎歴史研究会

獅子の如く代表 石田房一